

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課		
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・児童生徒一人ひとりの特性やニーズに応じたICT機器やAT等の活用による、最適な支援ツールや方法を導入できず、早期からの支援が不十分な状況。
- ・特別支援学校は、施設の老朽化や、児童生徒数の増加に伴う狭隘化が進み、安全で快適な学習環境が整っていない。

2 事業目的

一人ひとりの力を最大限に伸ばし、自分らしく学べる、安全な学習環境を整備する。

3 事業目的を達成するための取組

① 児童生徒に必要な支援ツールを整備

- ・一人ひとりの学習や生活にマッチした支援ツールの導入や試用を推進する。
- ・個別の指導計画に位置付け、障がいや認知の特性に応じた個別最適な学びを実現する。

② 特別支援学校の環境を改善するための施設等整備

- ・校舎等の修繕や改修を計画的に実施し、安全な学習環境を整備する。
- ・「長野県特別支援学校整備基本方針」に基づき、建築年数や建物の劣化状況、児童生徒数の将来推計等を踏まえながら、長期的な視点を持ち学校施設の整備を行う。
- ・物価高騰に伴う学校給食費等の値上げに対する保護者負担の軽減を図るため、食材費高騰分を支援する。
- ・老朽化が著しい松本養護学校・若槻養護学校において、令和4年度から実施している長野スクールデザインプロジェクトの取組を踏まえ、委託により設計業務に着手
- ・寿台養護学校の狭隘化や教室不足に対応するため、新たな土地を購入し、施設整備を行うための測量を実施
- ・小諸養護学校のトイレにおいて安心・安全なトイレ環境へ改善するため、レイアウトの見直しなど総合的な整備を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	個別の指導計画に個のニーズに応じたICT活用が位置づけられている児童生徒の割合	%	—	73	—	77	↑	80	未達成	第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を100%と設定したため、初年度であるR5年度は80%を目標とした。	
②	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	5.9	9.2	↑	17.2	↑	16.2	達成	中長期修繕・改修計画において、令和3年度からの10か年で185箇所を整備することが長期目標であり、令和5年度は16.2%を目標とした。	
③											

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出											

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	548,332	2,358,423	277,671	3,184,426	1,574,151	2,078,850	4.5
R4年度	692,413	865,181	532,602	2,090,196	1,335,380	1,436,966	3.7
R3年度	99,674	1,122,407	695,439	1,917,520	1,006,503	1,108,050	3.7

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

7 主な取組実績と成果

<p>①児童生徒に必要な支援ツールを整備</p> <ul style="list-style-type: none"> より効果的なICTの活用を促進するため、各ブロック（4ブロック）にICT活用推進ブロックリーダーを1名ずつ配置し、各特別支援学校で位置付けているICT活用推進担当者と連携し、各校でのICT活用の推進を図った。（ICT活用推進ブロックリーダーによる学校巡回回数344回） 個別の教育的ニーズに応じたICT・AT活用による支援拠点である「ICT・ATリソースセンター」を県内2か所に設置してICTやATの利活用に関する「相談・アセスメント・試用・活用」を進めた。 <p>②特別支援学校の環境を改善するための施設等整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校において、プール改修工事や屋根改修工事など計35か所の計画修繕を実施 松本養護学校及び若槻養護学校の施設整備に係る基本計画を策定したほか、設計業務等に着手 児童生徒数の増により校舎の狭隘化が生じている特別支援学校5校において、普通教室等34教室の増築工事を実施 寿台養護学校の狭隘化や教室不足に対応するため、新たに8,356.91㎡の土地を購入したほか、施設整備を行うための測量に着手 小諸養護学校小学部棟トイレの総合的整備に係る設計業務を実施

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	個別の指導計画に個々のニーズに応じたICT活用が位置づけられている児童生徒の割合	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
個々の実態把握をもとにした個別最適なICT活用を指導計画に位置付けた上で計画的、段階的に指導・支援が実践されている。盲、ろう学校等でのICT活用はより専門性が求められるため、指導計画への位置づけは徐々に進んでいる段階であり、現状では目標値を下回った。							
指標②	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
計画的に整備を実施し、目標値を達成した。							
指標③		R4年度推移		R5年度推移		達成状況	

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> 教科に準じる教育課程の学校での個別最適なICT活用の位置づけをより具体的にしていく必要がある。 計画的に修繕・改修に取り組んでいるものの、特別支援学校の老朽化や児童生徒の増加に対応した増改築等について改善が求められている。 スクールバスについては、引き続き希望者全員が乗車できる体制を確保することが必要である。
(2) 事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ブロックリーダーの巡回や担当者会において、特別支援教育におけるICT活用の3観点（コミュニケーション、活動支援、学習支援）の浸透を進めるとともに、準ずる教育課程における活用推進の好事例の共有、同じ障がい種の学校間での横展開での実践等に取り組む。 中長期修繕・改修計画に関しては、引き続き各校の状況を十分把握した上で、老朽化や故障等の不具合がみられる施設・設備の計画的な修繕及び改修に取り組む。 松本養護学校及び若槻養護学校については、新しい学びを実現する学習空間デザインやZEB化にも十分配慮した改築に努める。 児童生徒数の増加に対し、増築等を行い、学習環境の総合的な整備に取り組む。 スクールバス利用者を丁寧に把握し、ニーズに応じた運行に努めるとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を行う。

事業番号	15 05 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	特別支援教育推進指導事業	290,521 千円	312,714 千円	207,339 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校管理運営事業費	直接	ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターの派遣、タブレット端末等ICT活用教育の推進、訪問児童生徒の遠隔教育の推進、ICT・ATリソースセンターを中心に障がい特性に応じたICT機器・ATの活用を促進 ICT機器・ATの充実による支援拠点の整備 2か所	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	特別支援学校整備事業	265,659 千円	459,596 千円	1,238,818 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	中長期修繕・改修計画等に計画されている改修工事等について計画的に実施する。 整備箇所数 35箇所	
2	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接 委託	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備 令和4年度から実施している長野スクールデザインプロジェクトの取組を踏まえ、委託により設計業務等に着手 基本計画の策定	
3	特別支援学校教室増設事業	直接	児童生徒数の増による校舎の狭隘化に対して教室等の増築工事を行う。 整備教室数 5校34教室	
4	寿台養護学校施設整備事業	直接	寿台養護学校の狭隘化や教室不足に対応するため、新たな土地を購入し、施設整備を行うための測量を実施 敷地面積 8,356.91㎡の増	
5	特別支援学校トイレ環境整備事業	直接	小諸養護学校のトイレにおいて安心・安全なトイレ環境へ改善するため、レイアウトの見直しなど総合的な整備を実施 小学部棟トイレの総合的整備	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	特別支援学校運営事業	551,870 千円	664,656 千円	632,693 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特別支援教育就学奨励事務費	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給 支給対象者数 2,488人	
2	通学バス・公用車整備事業	直接	経年劣化したスクールバスの更新、児童生徒数の増加に伴う通学生の増加に対応するためのスクールバス増便・新規配置 スクールバス更新・増車等 5台（うち2台繰越）	
3	産育休代替教員の事前配置	直接	年度途中における欠員の抑制を図るため、産育休予定の教員が在籍する学校にあらかじめ代替予定の教員・講師を配置する。 教員・講師配置 3人	
4	県立学校給食費等負担軽減事業	直接	物価高騰に伴う学校給食費等の値上げに対する保護者負担の軽減を図るため、食料費高騰分を支援 実施学校数 16校	